

令和元年度 事業報告書

(2019年4月1日～2020年3月31日)



たのしい! だいすき! ほいくえん

社会福祉法人 ひづみ保育園

1. 全体の様子

平成30年度末に、全職員で保育の振り返りを行なった。子ども達は、個性豊かで自分の思いをしっかりと持っており、自己主張も出来るが、はっきりと自己主張をする反面、時として他者の思いに気づいたり、共感したりすることが未熟に感じるとの意見が出た。そこで31年度テーマを『一人ひとりが宝物 ～ 一人はみんな、みんなはひとりを大切に ～』と定め、保育を進めた。具体的関わりとして、年長組は「言葉で相手に気持ちを伝える」。年少組は「行動や気持ちを、大人が言葉に変換する」。そして全体の活動としては「友達の応援をしよう」である。私達の重点目標として、切り取った事実や現象のみで判断をしない。状態の良くない子の話も十分に聴く、を共通認識とした。

友達を応援する取り組みについては、それまで自分の活動以外に注意が向かなかった子ども達も、応援をすることで他の子の様子に気付くことができたり、思いを察したりすることができるようになってきた。活動に対しても集中時間が伸びたように感じる。

言葉にして自分の気持ちを伝えるについては、第三者として友達関係に介入した時に、相互の気持ちを言語化して伝えてあげようとする行為が見られるようになった。小さい子に対しても、思いやりの言葉が多く聞けるようになったと感じている。

また継続活動としての朝9時からの運動あそびは、マラソンや体操を主軸に、当園職員が受け持った県大会の分科会での『リズムジャンプ』を積極的に取り入れた。家庭で耳馴染みのあるアップテンポのJ-POPを背景に、鬼ごっこやゲーム性のように成功がはっきりするものではない活動であることから、運動の苦手な子達も楽しんで取り組んでいるように感じる。

また、保護者との連携を深められるよう、行事の評価をお願いしたり、年2回の保護者園評価で、保護者の意見を聞き、保育の振り返りを行ったりした。感染症対策では、情報提供及び公開に努めてきた。

2. 令和元年度の主な取り組みと実績について

● 『つながる保育』の意識化と職員間での情報の共有化

子どもの育ちは行きつ戻りつしながらの連続性だという事を職員側が常に意識し、その効果を言語化することに努める。3歳未満、3歳以上の保育リーダーを選出し、各リーダーを中心に子ども達の変化を職員間でこまめに情報交換することにより、様々な眼で子ども達の姿をとらえ、検証していくことができると考える。

また、月齢時の育ちの目標を意識しながらも、個人差、個性を理解した上で、それぞれの子どものためのステップアップの仕組みづくりはどうあるべきかを話し合い、次につないでいくようにした。

保育全体としては、「担当」「責任者」と呼ぶことで、その部署を全て一任することなく、全ての職員が全てのクラスの状態を知ることに努める。手段として、必要に応じての情報交換、職員連絡ノートの活用、毎日の10分間研修、月1回以上開かれる職員会等である。全ての職員が、全ての園児、児童、保護者、利用者の変化を把握し、声を掛けることができる体制を目指す。同時に、責任ある部署の連絡統括員としての役目も果たす。

● 職員の質の向上

園内研修を実施、職員一人ひとりの質の向上を図る。園の特色ある取り組みとしては、子どものそら舎の関山先生による2ヵ月に1度の研修と、30分保育の実施。30分保育には、就労形態や役職は問わず皆が取り組む。年間で自分が取り組むテーマを決定し、一年の予定、実施のための簡単な計画と評価を伴う活動である。

また保育目標に基づき、保育計画をもとに保育内容や保育士間の連携などについて検証し、それぞれ反省や問題点を提起、それらを基に勉強会を行った。

外部研修では、保育園独自のキャリアプランを策定し、保育協会、市や県の研修に積極的自発的に参加し、それぞれのセクションにおいて特化した研修を受けられるようなシステムにした。勤務状態を問わず、専門性を高めることを奨励し、複数研修参加の機会を積極的に設けた。職員のモチベーションアップや仕事に対する誇りを持たないように感じる。

- 食育の推進

クッキングや食事指導の年間計画を立てた他、畑から収穫した野菜の調理や、頂いた野菜や果物の加工、給食の下ごしらえの「お手伝い」など、旬と機会を重視した。

月に1度『いのちの日』として、鯛などの大きな近海の魚を仕入れ、子ども達に触らせたり見せたりした後に調理をし、みんなで分けて食している。また咀嚼活動の取り組みと咀嚼を促す献立等、「食材」だけでなく、「食行為」に注目した活動を取り入れてきた。

食べものをよく噛むことで「流し込み食べ」を防止できること、畑で自分達が栽培したものの行く末(種から腐葉土へ)を意識することで、一連の活動が単発的なものとならず、循環しているのだという気付きが得られた。

- 行事の取り組み方への見直し

それぞれの行事には、必ず参加した職員のコメントを載せ、一人ひとりの気付きが次に生かされる工夫をした。また保護者が参加した行事については各々アンケートを取り、保護者の意向や子ども達の受け取り方などを違った視点から指摘していただけるような仕組みを作った。

- リスクマネジメントの充実 及び危機管理への対応

日々のヒヤリハット(気付き)をおろそかにせず、その都度記録、回覧を試みた。年間の報告を集計し、その内容や発生時刻などから得たことについて研修時間を設け、見直しを行い重大な事故に繋がらないよう努めてきた。

与薬については、受け取り職員、与薬職員の名前と時間の明記に努める。

アレルギー児対応として、食事に専用の名札またはアレルギーテープを付けること、当該児がいる保育室の入り口に掲示を行なうこと、食材を引き渡す際、お互いの声出し確認の励行を行なう。分かり切った食材でも、声出し確認をおろそかにしない。エピペンやポイズンリムーバーの使用法の研修を、年複数回行う。

学校伝染病患者発生時は、速やかに保護者に通知する。また、対応のための保健だよりの発行、室内、遊具・用具の衛生に気を配る。(ポラリエットの活用)

日頃より、登園後すぐの職員、利用者の手洗い・うがいの励行を継続する。及び嘱託医との連携を確認する。

危機管理に関する事項が生じれば『ポラリスパスポート(ペンギンメール)』を活用し、速やかに保護者、職員、関係者に周知を図る。

3. 施設運営について

- 児童の処遇 定員 20名

① 園児クラス構成

クラス名	年齢	当初園児数	最終園児数
はな組	0歳児	0名	6名
はな組	1歳児	3名	5名
はな組	2歳児	4名	5名
うめ組	3歳児	11名	11名
たけ組	4歳児	5名	5名
まつ組	5歳児	10名	10名
計		33名	42名

② 児童クラブ構成

学年	当初児童数	最終児童数
1年	6名	6名
2年	3名	3名
3年	1名	1名
4年	4名	5名
5年	3名	4名
6年	1名	1名
計	18名	20名

- 健康管理

内科検診	5月15日(第1回)	11月8日(第2回)
歯科検診	6月11日(第1回)	1月15日(第2回)
身体測定	毎月1回	20日頃実施

● 給与栄養目標量と給与栄養量

荷重平均食糧構成表(g)

設定対象		エネルギー(kcal)	たんぱく質(g)	脂質(g)	炭水化物(g)	食物繊維総量(g)	VB1(mg)	VB2(mg)	VC(mg)	レチノール当量(μgRAE)	カルシウム(mg)	鉄(mg)	食塩相当量(g)
3歳未満児	給与栄養目標量	475	17.8	13.2	71.3		0.26	0.28	18	190	215	2.3	1.7
	給与栄養量(11月分)	478	18.6	12	66.8	3.3	0.21	0.28	32	180	252	1.3	1.4
3歳以上児	給与栄養目標量	400	18	15.9	48.2		0.3	0.36	19	200	255	2.5	1.9
	給与栄養量(11月分)	354	16.8	10.8	47.8	3.8	0.17	0.24	33	235	197	1.6	1.5

● 月ぎめ行事

- ★ クッキング ・ 食事指導
- ★ 第1月曜日 安全指導
- ★ 第1金曜日 いのちの日
- ★ 20日頃 発育測定
- ★ 23日頃 お話しの日
- ★ 25日頃 避難訓練
- ★ 月末 お誕生会
- ★ 末日 咀嚼の日



● その他の事業概要

- ★ モーニングサポート(早朝保育)
- ★ イブニングサポート(延長保育)
- ★ 障害児保育
- ★ 一時預かり保育
- ★ ひびみ児童クラブ
- ★ 子育て支援センター『トライアングル』
- ★ 子育てサロン(日積民生委員協議会主催)



● 年間行事

<p>4月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✳ 保育開始 お花見給食 ✳ 入園式 ピクニック給食 ✳ はぐくみ会総会 ✳ 437 鯉のぼり掲揚 ✳ 子どもの日 鯉のぼり持ち帰り 	<p>10月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✳ ピクニック給食 ✳ 親子バス遠足 In 宮島、みやじマリン ✳ 消火避難訓練 ✳ 体力測定 ✳ 就学児健康診断 ✳ カレーパーティー ✳ 緑風荘慰問 
<p>5月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✳ 徒歩遠足 in 大里公園周辺 ✳ 緑風荘慰問 ✳ 母の日プレゼント持ち帰り ✳ 体力測定 ✳ 嘱託医第1回内科健康診断 ✳ 年長児フラワーアレンジメント 	<p>11月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✳ ピクニック給食 ✳ 緊急地震速報訓練に合わせたシェイクアウト訓練、引渡し訓練 ✳ 芋掘り ✳ 歯磨き指導 ✳ 嘱託医第2回内科健康診断 ✳ 年長児勤労感謝プレゼント渡し ✳ お遊戯会
<p>6月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✳ 県大会引き受けによる特別保育時の記念日時計持ち帰り ✳ 嘱託医第1回歯科検診 ✳ 父の日プレゼント持ち帰り ✳ 年長児金魚ちょうちん絵手紙教室 ✳ はぐくみ会講話会 ✳ 437 七夕飾り付け 	<p>12月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✳ 年長児日積ふるさと祭り参加 ✳ 日積小学校低学年「おもちゃまつり」年長、年中児参加 ✳ 手作り年賀状投函 ✳ クリスマス会 ✳ 大掃除 
<p>7月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✳ 七夕の集い ✳ 劇団風の子 観劇会 ✳ 全園児午睡開始 ✳ 防犯訓練 ✳ プール・水遊び開始 ✳ 特別支援教育地域コーディネーター等の巡回訪問 	<p>1月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✳ 七草摘み ✳ 三世代交流会 ✳ かるた大会 ✳ 嘱託医第2回歯科検診
<p>8月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✳ 夏休み保育・幼児教育体験 ✳ 水泳大会 ✳ 実習生受け入れ ✳ お祭りごっこ 	<p>2月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✳ 節分会、凧揚げ大会 ✳ 就学児一日入学 ✳ 防犯訓練♥TA 育児講演会 ✳ お店屋さんごっこ ✳ なわとび大会 ✳ 文殊様縁日 ✳ 年長児親子交通教室 (コロナ中止) ✳ 437 ひなまつり出展 (コロナ中止)
<p>9月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✳ 周防ケーブルネット『わいわい柳井っ子』撮影 ✳ 十五夜お団子作り ✳ 年中、年長児午睡終了 ✳ 日積地区触れ合い運動会 ✳ 中学校職場体験 ✳ 年長児日積地区敬老会参加 	<p>3月</p>	<ul style="list-style-type: none"> ✳ ひなまつり会 ✳ 触れ合い餅つき会 (コロナ中止) ✳ お別れ徒歩遠足 ✳ お別れ会 ✳ 卒園式 (コロナ縮小化) 

● 職員の処遇

① 職員構成

クラス名	当初職員数	年度末職員数
園長	1名	1名
主任保育士 (Free)	1名	1名
副主任保育士 (兼、3歳以上児保育リーダー)	1名	1名
はな組 (0,1歳児)	1名	1名
はな組 (2歳児)	1名	1名
うめ組 (3歳児)	1名	1名
たけ組 (4歳児)、まつ組 (5歳児)	1名	1名
支援センター指導員	2名	2名
非常勤保育士	7名	9名
栄養士	1名	1名
保育補助員	2名	2名
嘱託内科医	1名	1名
嘱託歯科医	1名	1名
計	21名	23名



② 健康管理

- 健康診断 5月13日～8月21日 法定健診実施 (周東総合病院)
希望者による、柳井市結核・肺がん検診の受診…本年度、希望なし
- 職員検便 月1回、給食に携わる職員、調乳に携わる職員、支援センター、
児童クラブ等職員の実施
年1回、職員全員検便実施 (赤痢菌、サルモネラ菌、病原性大腸菌 O-157)

③ 研修

- ✪ 外部研修 (51研修、延157名受講 内、キャリアパス講座7種)
- ✪ 資格取得 (キャリアパス取得 延11名、衛生推進者1名、福祉職員キャリアパス
対応生涯研修課程 (管理職員コース)1名、
放課後児童支援員認定資格 2名取得)
- ✪ 人材育成 (研修) に特化した研修の導入
講師名：社会保険労務士事務所こどものそら舎 関山 浩司
(4講座、延45名受講 2ヵ月に1度の研修、但し3月はコロナウイルス
感染症の影響で中止)
- ✪ 内部研修 各自、テーマを決め活動後、全体で評価、見直しを進める。また、外部
研修で得た地域や情報を報告したり、復習、検討を行なったりする。

④ 福利厚生 (公財)山口県健康福祉財団・福利厚生事業加入

4. 施設事業管理について

● 災害対策

- ★ 避難訓練 毎月1回、各種想定をして実施
消火避難訓練（総合訓練）年1回、火災による避難、消火、通報訓練を実施
柳井消防署東出張所に指導を依頼する（10月11日）
- ★ 防火設備の保守点検（1回目）5月27日（2回目）12月18日…ベスト防災による保守点検
- ★ 不審者対応訓練（1回目）7月17日（2回目）2月5日
- ★ AED設置（不測の事態に備え、2階建園舎北側外壁に設置）

● 園舎内外の補修・整備

- ★ 乳児室エアコン取替工事
- ★ 遊戯室蛍光灯取替工事
- ★ 遊戯室スロープ腐食部分取替工事
- ★ 1F廊下 非常用感知器 修理
- ★ ぶどう棚 取替工事

● 環境整備

- ★ ブロック塀『危険』看板設置
- ★ 周防ケーブルネット敷設
- ★ リバーシブルスタンド購入
- ★ プロジェクター、スクリーン購入
- ★ 遊戯室エアコン設置
- ★ 桜の消毒、剪定
- ★ 2F両保育室 灯油ストーブ撤去
- ★ ワイヤレスアンブ購入（防災）

5. 地域との連携について

- ★ ボランティア、社会体験の受け入れ
 - 保育・幼児教育体験学習（日積小教諭 8月7日）
 - 大学生自主実習生の受け入れ 計1名
 - 柳井中学校2年生職場体験学習（3日間・5名）（9月25日～27日）
- ★ 地区の行事に参加し、地域間、世代間の交流を図る
 - ふれあいどころ437 鯉のぼり掲揚（4月19日～）
 - 日積小スクールガード対面式（5月15日）
 - 学校応援団総会（5月29日）
 - 緑風荘慰問 年2回（5月10日、10月30日）
 - 金魚ちょうちん絵手紙教室（6月17日）
 - ふれあいどころ437 七夕飾りつけ（6月28日～）
 - 日積地区ふれあい運動会参加（9月22日）
 - 日積地区敬老会 遊戯、歌等を披露（9月29日）
 - 日積ふるさとまつり 遊戯披露、作品展示（12月8日）
 - 日積小学校低学年「おもちゃまつり」年長・年中児参加（12月9日）
 - 日積小スクールガード情報交換会（2月25日）
- ★ 施設を開放し、地域の方に親しみを持つ
 - サークル『女子会』（毎月第2水曜日）
 - 437で劇団 観劇 風の子「まる さんかく しかく」（7月13日）
 - 周防ケーブルネット『わいわい柳井っ子』撮影（9月13日）
 - カレーパーティー（10月24日）
 - 三世代交流会（1月7日）
 - お店屋さんごっこ（2月8日）



🌟 地域人材の活用

- 日積小学校参観日、日本赤十字社による AED 講習への参加 (6月7日)
- 児童クラブ・放課後子ども教室 (7月31日、8月6日、19日)
- 児童クラブ・わくわくすいはんきクッキング (8月21日、12月27日)
- 大島商船出前授業 (8月23日)
- 児童クラブ・放課後子ども教室『手品』 (10月2日)
- よちよち歌劇団ママ組公演 (11月7日)
- 歯磨き指導 保木 孝子歯科衛生士 (11月14日)
- 子育て講演会『防災について』
日本防災士会 山口県支部柳井市防災士会 防災士 3名 (2月13日)

